

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年9月7日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年9月7日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【足場解体終了後の休憩後における体調不良者の発生について】 協力企業作業員が、6号機タービン建屋地下1階にて消防設備保守点検業務における煙感知器交換後の足場解体終了後、疲労感を感じたため同建屋1階で休憩を取り、その後立ち上がった際、右足がつかい動けなくなったことから救急医療室を受診。 救急医療室において脱水症と診断され、処置後退出。 当日中に回復し、翌勤務日には出勤(不休)している。</p>	GⅢ	9月2日
2	<p>【6号機高圧電源盤の絶縁抵抗値の低下について】 協力企業作業員が6号機高圧電源盤点検において、高圧電源盤同士をつなぐ電線の絶縁抵抗値が低下していることを確認。 当該電線を切り分けて絶縁測定を行ったところ、タービン建屋とコントロール建屋間の電線に絶縁不良を確認。 今後、絶縁抵抗値が低下している電線を交換予定。 なお、点検中に交換を実施することから、電源系統に影響なし。</p>	GⅢ	9月5日